

“Dance with Heart”
We are burning with enthusiasm
in creating national art for the new era.
The Kikunokai Dance Troupe
Representative : Satoshi Hata

日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
03-5983-6001 (代表)
菊の会 京都八瀬研修所
〒601-1254
京都市左京区八瀬野瀬町 10
075-712-8701 (代表)
http://www.kikunokai.co.jp

Dancing from the heart

老人ホーム

「コーポラスはないち」へ 公演メンバーが慰問公演

青森県 八戸市



6月12日、高齢者施設へ公演メンバーが慰問公演を行いました。学校公演などで共演している津軽三味線の喜楽座のメンバーを加えて、踊りの他に唄あり三味線演奏あり、又入居されている方にも参加して頂き一緒に「花笠音頭」を合唱。普段多忙な職員の皆さんも交えて、温かい交流イベントとなり、施設の方からも「公演は、私たちの予想をはるかに超えたとても素晴らしいものであり、間近で観る迫力に心躍らされるものでした」と大変に喜んで頂く事が出来ました。



南米ペルーから帰国



菊の会ペルー教室の皆さんは毎年11月に盛大に開催される「日本文化週間」に連続出演されています。毎月2回の畑聡代表によるリモートでの稽古に加え7月2日、14日まで大川慶子さん山沢優子さんが舞踊指導の為現地へ赴き、先日無事帰国しました。本番へ向けてこれから更に稽古に熱が入り、11月には畑代表も渡航され直接指導をされる予定です。
ペルー菊の会は来年で10周年を迎え、菊の会舞踊教室の記念すべき第50回記念発表会へは15名が来日し参加をされる予定です。



菊の会ペルー教室の皆さん



菊の会八瀬研修所広間からの景色

残暑お見舞い 申し上げます



舞踊集団 菊の会
代表 畑 聡

酷暑の夏となりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。日頃は私共菊の会に温かいご支援を賜りまして誠に有難うございます。今年上半期は2月の群馬県館林市での公演をはじめ4月の菊の会サポーターズクラブ友の会懇親会、6月新宿での東京公演と沢山の皆様にご来場賜り、お蔭をもちまして各公演共に盛会裏に終了することが出来ました。
下半期には8月30日と12月7日に菊の会スタジオでのアトリエ公演がございます。皆様、是非お越し下さいませ。
又、舞踊団としての公演活動と並行して行っております、首都圏と京都で展開をしている22ヶ所での舞踊教室の各地での発表会も今年第50回目を迎え、記念の舞台が8月から東京都(東村山市)、茨城県(神栖市)、9月には京都府(京都市)、埼玉県(富士見市)、そして10月に千葉県(流山市)、神奈川県(相模原市)と続けて開催され、来年1月東京都(墨田区)ではスカイツリーにほど近い曳舟文化センターにて第50回記念発表会の掉尾を飾る舞台では、舞踊指導を始めて10年目を迎える南米ペルー教室からも15名が来日し参加を予定しております!!
そして、同じく来年3月29日に友の会の懇親パーティーも開催が決まりました。
菊の会では「心と身体の元気！」に繋がる事を目指し、こうした舞踊教室での普及活動と、伝統を踏まえた瑞々しい創造性溢れる作品創りでの公演活動を両輪に、これからは沢山の皆様に見たら心が晴れやかになった!と言っていただけですが、更に更なる精進をします。
どうぞ変わらぬご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

菊の会サポーターズクラブ友の会へのお誘い

【年会費】	
(個人)	(法人)
シルバー会員…1万円	ゴールド会員…5万円
ゴールド会員…2万円～	プラチナ会員…10万円～
プラチナ会員…5万円～	

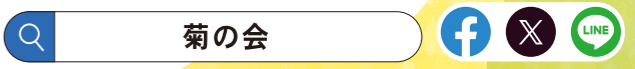
【振込先】	
三菱UFJ銀行	新宿通支店
	普通預金 №2969751
郵便振替口座：00120-9-72751	
	舞踊集団菊の会

特別支援金のお願い

変化の激しい現代だからこそ、「日本の心を守り育てたい」
沢山の人の胸に響く舞台創りを目指す菊の会へ
皆様の更なる応援を何卒宜しくお願い申し上げます。

【特別支援金】 1口1,000円(1口以上)1口以上であれば金額は自由にお決め頂きいつでも受け付けております。

【お問い合わせ】 〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23
舞踊集団 菊の会 事務局 TEL.03-5983-6001 / FAX 03-5983-6002



大盛況の東京公演!!

6月8日(日) 四谷区民ホール

踊りの『津軽じょんがら節』、男性メンバーが勇壮にカラフルな傘を回しての『貝殻節』と二枚扇で賑やかに踊る『南部俵積み唄』。ゲストに迎えた実力No.1と謳われる尺八奏者・米谷和修さんの『竹の調べ』を挟んで後半は、畑道代振付による『白い鳥』『獅子の時代』『不戦の誓い今こそ』そして、畑聡振付『いのちの歌』『こころたび』と現代に溢れる身近な音楽、ポップスやニュー・

『四つ竹』に続き、軽快な『鳩間節』の琉球舞踊からはじまり、日本の民俗芸能の代表『鬼剣舞』、風を切る軽やかな手



日本のおどり

水無月に舞う

去る6月8日、新宿御苑の瑞々しい緑の森を見下ろす四谷区民ホールで『水無月に舞う』と題して東京公演が開催されました。第1部では江戸情緒あふれる、久保田万太郎・作、長唄『都風流』を宮沢りか、安江小百合、井下泰子により開幕。続く久方ぶりの上演となった狂言舞踊『釣女』はこれまで世界34カ国・89都市での海外公演でも度々演じられた演目で、畑聡代表の太郎冠者、武井則男の大名、中山順子の上臈と、通常は醜女と表記される役名を樂女と変えて枝木茂の面々がビジュアルの面白さだけに留まらず、それぞれ二組の個性溢れる仲睦まじい似たもの夫婦の楽しさと面白さを描く事を目指して稽古に取り組み、客席を明るく笑い包みました。



第2部は遠くから聞こえる波の音で開幕すると、琉球笠に紅型の衣装を着けた7名の



ミュージックを使つての舞踊を展開した。舞踊選集『水無月に舞う』ではそれぞれ個性の違う作品に客席から盛んに拍手が送られ畑代表と12歳の渡辺梨乃が演じた『いのちの歌』では「思わず涙が出ました。」又、「全編通して心が躍動しました」との感想が寄せられました。



「金曜赤坂座」で畑『夕顔』を上演

畑聡代表が理事を務める・日本舞踊ダンサーズネットワークは「日本舞踊の発展を図る事を目的として、舞踊家の発信基地、そして切磋琢磨の場として『金曜赤坂座』を開催しております」(日本舞踊ダンサーズネットワークHPより抜粋)との理念のもと赤坂の黛ホールで年に6回公演を開催している団体で、去る5月16日に畑聡代表が出演し、畑道代前代表がNHKの邦楽番組で菊の会八瀬研修所から放映された折に踊られた京三味線「夕顔」を素踊りで上演しました。次回10月17日には畑道代・畑聡振付『うましの水』で畑聡代表が出演されます。

畑聡代表が



—相馬流れ山を踊る畑代表—



一般社団法人日本民謡プロ協会は「民謡・舞踊の伝承と発掘及び創造を図り—中略—我が国の伝統芸能文化の発展を目的とする」会で、毎月公演を行っており、今回の特別公演で畑聡代表が原田直之さん他の演奏で「相馬流れ山」を踊りました。

第349回民謡定席 特別公演「民謡回帰」

歌手の原田直之さんが鑑賞して下さい。感想を寄せてくださいました。

『菊の会と私』

日本歌手協会 理事
日本民謡プロ協会 副会長
民謡歌手 原田直之



去る6月8日、菊の会公演『日本のおどり・水無月に舞う』に昨年に続きご招待を頂き妻の真木と出席して参りました。真木は舞踊が大好きで嫁と孫にも習わせて、原田会を初めいろいろな所で踊っています。さて今年の公演はどんなプログラムかと話しながら四谷の会場へ、中央のいい席に座ると一部の長唄『都風流』で幕が開きました。続いて狂言舞踊『釣女』は面白おかしい内容に思わず笑ってしまいました。第二部は沖繩の踊りから民俗芸能と各地の民謡舞踊そして後半は現代音楽での舞踊『いのちの歌』『こころたび』に心を洗われ爽やかな気持ちでフィナーレを迎えました。聡さんと出演皆さんの一糸乱れぬ舞踊に大変な感動を頂き真木と「あー!!よかったよかった」の言葉を交わして帰りました。『菊の会』さんとは長い付き合いをさせて頂きました。数々の公演を一緒に楽しみながら一番の思い出は私の民謡ミュージカル『津軽三味線の譜』で私は津軽三味線を初めて作る男、その妻に菊の会の創立者畑道代さんとで行った舞台です。二人で苦労して作る津軽三味線の物語り：歌あり芝居ありそして踊り、菊の会の稽古場に通いました。いろいろと所作等を畑さんには指導してもらい助かりました。そして劇中の挿入歌『津軽夫婦星』を大オーケストラの伴奏で二人が歌うシーンは今でもしっかりと覚えております。原田が「辛いのか涙も見せず：道代さんへいゝえあなたと二人なら：作曲小川寛興さん、作詞吉永淳一さんでとってもいい歌でした。菊の会の皆さんも一緒に出演していただきました。代表の畑聡さんには私が副会長を務める民謡プロ協会に入会して頂き会員として民謡定席にも出演して頂いております。今年7月17日、定席特別公演(浅草公会堂)にも出演されたのふると相馬を代表する民謡「相馬流れ山」を私と成世昌平さん小野田浩二さん剣持雄介さん4人の唄で踊っていただきました。格調高く威風堂々と相馬の武士を舞う聡さんの姿に懐かしく野馬追い祭りを思い出して目頭を熱くしました。ありがとうございました。聡さんそして菊の会の皆さんはお会いする時も温かく言葉をかけてくれます。嬉しいです。菊の会は今年創立53周年を迎えたこと。創立者畑道代さんから『日本のおどり』と『文化』の原点を受けて今後も聡さんと会の皆さんが、国内は勿論のこと広く世界に向かってのご活動を祈っております。

菊の会アトリエ公演

2025年
12月7日(日)

菊の会Aスタジオ

開催決定!!

菊の会 サポーターズクラブ友の会 懇親パーティー

2026年
3月29日(日)